

平成24年度 Matsusaka-EMS 内部環境監査実施結果

結果概要

昨年度10月から運用を開始した Matsusaka-EMS について、今年度より内部環境監査を実施しました。監査は、松尾地域マネジメント担当参事を総括内部環境監査員とし、内部環境監査員研修を修了した本市職員21名により、全組織の3分の1に当たる25部署を対象に、平成24年11月5日～11月22日の期間に実施しました。

監査の結果、優良な点が多く挙げられ、概ねシステムの運用は適切に実施されていました。評価の内訳として、優良な取り組みを行っているなど良い点が見受けられた場合に選定する「優良事項」が24点挙げられました。また、現時点では問題が生じていないが、このままいくと、システムの運用管理及び環境負荷低減等の取組に支障が出る可能性がある場合に指摘する「観察事項」は10点挙げられ、システムの運用に改善の必要がある場合に指摘する「要改善事項」の指摘はありませんでした。

平成24年度被監査部署 25部署

総務部	総務課、財務課、職員課、契約監理課
環境部	環境課、最終処分場、清掃工場建設室
福祉部（福祉事務所）	福祉課、こども未来課、家庭児童支援課、保護課
都市政策部	都市計画課、営繕課、建築開発課
教育委員会事務局	教育総務課、学校支援課、いきがい学習課
嬉野地域振興局	地域振興課、地域住民課、地域整備課、嬉野上下水道事務所※
飯高地域振興局	松阪市ケーブルシステム※、林業振興室※、飯高水道事務所※、飯高教育事務所※

※各地域振興局にある出先部署については、監査の利便上、該当する部局を地域振興局として扱っています。

※被監査部署数について、平成24年度は、全74部署中25部署を実施しました。残りの部署については、平成25年度は25部署（予定）、平成24年度は24部署（予定）を実施し、3年間で全ての部署を監査します。

平成24年度内部環境監査員 21名（監査チーム7部局）

市政戦略部	松尾 容子※、西川 克司（IT推進室）、西 澄子（広報広聴課）
税務部	金谷 一也（資産税課）、松下 敏幸（収納課）、刀根 薫（市民税課）
生活部	加藤 利男、三田 敏彦、深田 政己（安全防災課）
保健部	西井 良孝、内田 寿明（保険年金課）、三宅 義則（介護高齢課）
建設部	安永 敏之、加藤 正行（住宅課）、長谷川 均（用地対策課）
上下水道部	世古 章、岡野 浩（上水道建設課）、大門 憲義（下水道建設課）
三雲地域振興局	古市 明美、佐藤 和利（地域振興課）、中村 信幸（地域住民課）
※総括内部環境監査員	

「優良事項」 計24点

可燃ごみ排出量の削減	総務課 契約監理課
各種エネルギー量の削減	総務課（電気） 財務課（電気・ガソリン・水道） 保護課（電気） いきがい学習課（ガソリン）
職員の環境意識の向上	職員課 教育総務課
緑のカーテンの取り組み	環境課
環境に配慮した工事の推進	清掃工場建設室
課等独自の取り組み	環境課（ごみ分別の管理方法） 福祉課（時間外勤務時間の削減） こども未来課（時間外勤務時間の削減） 家庭児童支援課（環境美化活動への参加） 都市計画課（環境美化活動への参加） 営繕課（環境に配慮した工事の推進） 建築開発課（電気量削減）
環境基本計画重点事業の評価	学校支援課（学校エコチャレンジ事業） 嬉野地域振興課（ネコギギシンポジウム開催事業） 林業振興室（森林環境創造事業）
システム文書類の整理、ごみの分別	松阪市ケーブルシステム 林業振興室 飯高水道事務所 飯高教育事務所

「観察事項」 計10点

紙使用量の削減	総務課
ごみ排出量の集計管理	保護課 嬉野地域住民課
各種エネルギー量の削減	福祉課（電気） こども未来課（ガソリン）
課等独自の取り組みの目標基準の見直し	家庭児童支援課 保護課
緊急事態対応訓練の実施時期の見直し	嬉野地域住民課 嬉野地域整備課
システム文書の管理	嬉野上下水道事務所